

1. 令和2年度「議会報告会」地区テーマ

(1) テーマ： 通学路の安全の推進について

■児童の登校班と児童数・生徒数について 甘利小学校 60班 377人 西中学校生徒数 旭 78人 大草 85人 竜岡 102人

町班数	地区名	班数	人数	児童・生徒の登下校の様子			
旭 20班 115人	鋳物師屋	2	10	 竹ノ内の信号機場所	 徳島堰沿線	 旭バイパス信号機なし	 旭バイパス新設の信号機
	宮下	3	14				
	久保・竹ノ内	1	4				
	湯舟	1	2				
	南割団地	1	7	地域による見守り活動	道幅が急に狭くなる場所有	停止しない車有	地域と保護者が実現
	山寺	2	12	 すずらん団地周辺			
	すずらん団地	3	19				
	小曾根	1	7				
	鍛冶屋	2	13				
	旭団地・北原	2	12				
山口	2	15	※GBの設置が望まれる	地域からの改善要望有	交通量が多く見通しが悪い場所で対策が必要		
大草 15班 112人	若尾団地	2	12	 若尾地内			
	若尾・東田	3	24				
	羽根	5	35				
	西ノ割	2	14				
	町屋	2	17				
アゼリア	1	10	狭く速度抑止が必要	道幅が狭いためGBの設置	狭く交通量が多い	横断歩道の設置を推進	

※GB＝グリーンベルトの略。路面を緑色にすることで、ドライバーに通学路であることを視覚的に認識してもらい事故を防ぐ目的で設置される。

町班数	地区名	班数	人数				
竜岡 25班 150人	若尾新田・サンコー ポラス竜岡	7	48				
	坂の上(東)	2	8				
	坂の上(西)	5	25	安全運転をする方が増加	見守り体制の推進が必要	地域による朝夕の取組	甲蓋や安全柵の設置要望有
	石宮	4	29				
	越道	2	9				
	サンステージ	2	11				
	真葛	2	15				
	スカイタウン	1	5	自転車レーン設置も一考	生徒認識用の照明を新設	転落防止対策が望まれる	地域の要望が実現

スクールガード数 旭 北割5人 中割3人 南割3人 大草 中割2人 西割4人 東割4人 若尾4人 竜岡 若尾新田7人 東割7人 南割9人
 ・スクールガードの皆さんの日々の活動は「子どもたち」への愛情であふれています。これからも健康に留意され、お力添え頂けますことを願います。

■今後の取り組みについて

- ①「甘利地区の児童・生徒の登下校の様子」をチラシ等でお知らせし、ソフト面の安全対策を継続して推進。
- ②地域の実情を行政が共有し、効果的な安全対策が実行されるように働きかける。
- ③防災無線等を活用した下校時の呼びかけ運動と、地域による見守り活動の更なる推進を後押し。
- ④すずらん団地周辺へのグリーンベルトの設置や羽根坂の安全対策及び町屋区の横断歩道の設置等に向けて取り組む。
- ⑤北原区、若尾区、越道区をはじめ、通学路となっている市道への甲蓋の設置要望の実現に向けて市に働きかける。



◆「通学路の安全対策」がテーマとして掲げられてから4年の月日となります。今日まで甘利地区の皆さんのご協力により多くの対策が確実に進んでいることは喜ばしいことであり、また、通学路の安全対策が各地区要望に含まれている点はまさに「子どもたちは地域の宝」を実践しているとも言えます。さらにドライバーの皆さんの安全な速度による運転が確実に浸透していると感じます。これらのことに感謝すると共に今後も引き続き、子どもたちへの優しさと心配りを願います。そして安全運転の実践が自らの幸せを守ることに繋がることを今一度、考えて頂きたく思います。

議会報告会やチラシ等により「子どもたちの様子をよく知る」ことは、多くの人々の意識を「子どもたち」に向け、非常に効果的であることが分かりました。そこで、ハード面の進みは遅いけれども、人の心を信じ、先ずはソフト面の充実を図りながら調査を続けることが大切であると思います。そして、施工においては、実情に基づく効果的な安全対策が実行されるように地域と行政が呼吸を合わせることが望まれます。今後は、当事者である子どもたちの意見も加える等、新たな試みを創造しながら甘利地区の皆さんと共に日々の安全を議員一同願い、活動を続けてまいります。

(2) テーマ: 県道613号甘利山公園線の改良工事の事業推進について

■ 県道613号甘利山公園線の概要

県道613号甘利山公園線は、旭町甘利山公園を起点とし龍岡町若尾新田に至り、県立自然公園の甘利山公園へのアクセス道路であるとともに、国道20号と主要地方道葦崎・南アルプス中央線とを連絡する生活道路でもあります。事業区間にあつては、幅員狭小箇所や視認距離を確保できない箇所が存在し、ドライバーは対向車とのすれ違いに危険を感じています。また歩道幅員も十分でなく、歩行者は常に車両の通行を意識せざるを得ず、車両及び歩行者の円滑な通行に支障が生じています。ドライバーの視認距離の確保、円滑な通行、歩行者の安全を図るため、早急に事業を推進し、危険な通行を改善する必要があります。

■ 事業区間

◇ 県立葦崎工業高校前 ～ 老人福祉センター前交差点

■ 事業の現在地

平成30年度に調査費用が県予算に計上され、計画線上の補償対象物件等について詳細な調査が実施され、補償費用の見積もり並びに計画線確定のための細かな修正が加えられるなどされたのち、令和元年9月、令和2年1月の2回に分けて、若尾新田公民館において、地元地権者及び関係者向けの説明会が実施されました。

令和2年度(本年度)においては、説明会でいただいたご意見を尊重し、上記調査を継続しながら、用地交渉に向けた手続きが進められています。

■ 今後の予定

◇ 令和3年度 ～ 用地交渉

用地交渉の進捗により工事に着手していく予定

引続き、長年にわたる要望が実現されるよう、また、早急な事業推進が図られるよう、地元区のご協力をいただきながら、葦崎市を窓口として、県へ要望してまいります。



(3) テーマ： 鳥獣害対策について

行政が実施している鳥獣害対策事業概要は次のとおりです。

- 有害鳥獣駆除対策事業…全ての有害鳥獣を対象とした追払い及び捕獲業務
 - 防護柵原材料支給やソーラー機器、通電部及び周辺機器修繕、ヤマヒル駆除剤の配布、サル追払い用電動エアガンの購入及び貸し出し
 - 特定鳥獣保護管理事業…山梨県特定鳥獣保護管理計画に基づく個体数調整(猟友会による銃器、わな猟による捕獲)
 - 対象鳥獣：イノシシ・ニホンジカ・ニホンザル
 - 令和元年度市全体の捕獲総数(実績)：イノシシ(60頭)・ニホンジカ(405頭)・ニホンザル(240頭)
- ※環境省公表の山梨県内におけるニホンジカの推定生息数が約5万頭であることから、県では令和5年度までに生息数の半減を目標とし、本市も適正鳥獣保護管理事業での捕獲頭数を400頭と定めるとともに、出産時期である2月～6月を捕獲強化期間として、メスジカの捕獲に努めています。
- 狩猟免許取得の助成…申請手数料5,200円 講習会費6,000円 射撃教習受講料35,000円
 - 新たに狩猟免許の取得に要する経費は全額補助対象になります。
 - 市に關係書類を添え補助金交付申請書を提出し、審査後交付を受けることになります。
 - 令和元年度に実施した赤外線カメラ搭載ドローンによる猟のサポートの成果を基に、今後の狩猟方法を検討します。

[参考資料]

- ◆市内の電気柵の延長の状況…市内全体で19,705m
 - ◇円野町:6,304m (上円井1,650m・宇波円井1,480m・下円井1,120m・入戸野2,054m)
 - ◇清哲町:5,477m (折居1,833m・青木(上下)1,387m・中谷971m・御杉1,286m)
 - ◇神山町:2,707m (北宮地1,154m・鍋山1,553m)
 - ◇旭町:5,217m (山口1,220m・小曾根545m・鍛冶屋545m・山寺677m・竹之内554m
・久保525m・湯舟1,151m)

◎引き続き、猟友会への銃器による威嚇・捕獲の委託や電気柵上部の通電部増設並びに、下部の補強等、人里に鳥獣を出さないための追払い対策、施設整備、加害鳥獣の駆除・捕獲等を講じていくことが重要になります。

(4) テーマ： 県道 607 号北原・下条南割線のさらなる整備について

1・羽根工区の進捗状況について(県からの回答)

①現在の用地取得状況は、31人中12人(R2.7.1時点)。※昨年の45人中5人の報告では土地を含まない補償物件のみの方も含まれていました。

②予算状況は、平成30年度：4千6百万円 令和元年度：2億3千万円 令和2年度：8千万円(見込み)。

◆今後の用地取得の状況により工事着工に向けた計画が進むこととなります。引き続き、地権者のご理解と地元区のご協力をいただくと共に、大草町及び町民の方からの定期的な状況報告を望む声もありますので、その実現に向けて県に働きかけてまいります。

■計画図と現在の登下校の様子

甘利小

一般県道北原下条南割線 計画平面図

※図面は設計中のものであり、細部は変更の可能性があります。

歩道設置予定範囲



羽根公民館

羽根公民館前
新設の路面標示

南宮神社

南宮神社横 下校時
歩道のない区間
信号機の設置について
も地域提案有

J A 梨北

南宮神社前 登校時
学校長とスクールガード
ボランティアによる見守り

木下商店周辺 下校時

歩道のない区間 登校時

横断歩道がない場所
地域からの要望有

2・羽根公民館から(株)タンガロイまでの拡幅と北原交差点の安全対策について

羽根公民館から北原交差点方向約400mの区間は、見通しのきかないカーブが続き、道幅も狭いため車両のすれ違い時には路側帯を越え側溝蓋の上を通行しなければなりません。また、路側帯の幅も側溝蓋と同程度しかなく歩行者にとって危険な状況であり、さらに葦崎西中学校の生徒が自転車通学時において常に車両との接触の危険にさらされております。これまでも、町による安全対策が考案されてきましたが、今後は羽根工区の早期の着工と共に、拡幅区間を(株)タンガロイまで延伸することについても地域で目指すことになります。

一方、県道613号甘利山公園線と交わる北原交差点においては、多くの児童・生徒の横断がある場所ですが、見通しが悪く信号機もないことから大草町と小中学校からの改善要望が毎年提出されております。引き続き、地域・学校・行政が一丸となって効果的な安全対策の可能性について考え、取り組んでいく必要があります。

R2年6月8日(月)～12日(金) 通勤時間帯の交通量(平均値)

時間	至(株)タンガロイ	至羽根公民館	自転車(西中生徒)
7:00～7:15	24台	13台	5台
7:15～7:30	46台	18台	9台
7:30～7:45	48台	22台	7台
7:45～8:00	47台	24台	3台
合計	165台	77台	24台

拡幅の延伸を望む区間の様子



◆現時点では、事業が進められているアゼリアから羽根公民館までの歩道の設置と拡幅を行った後、(株)タンガロイまでの延伸について検討が進められることとなりますので、その間の安全対策を考案すると共に、当該地にお住まいの方々による建設的な話し合いの場が求められます。

<可能な取り組み>

- ・(株)タンガロイ従業員の安全運転による速度の抑止効果が実感できるので、引き続きご協力いただく。
- ・大型トラックや学校食材車に対する速度抑止の働きかけを市を通じて行う。
- ・道路利用者への周知を図る。
- ・北原交差点も含め、当事者である中学生等による安全対策の提案についても検討していただく。

